

Doc. 12-10

24.50

對外國係ニ關スル政府公表集（情報局）

一〇、一一、一二頁ヨリノ拔萃

日本國獨逸國間經濟提携ニ關スル協定

日本帝國政府並

獨逸國政府ハ

大東亞並歐羅巴ニ新秩序ヲ建設セントスル今次戰爭ニ於テ全經濟力ヲ擧ゲテ相互援助ヲナシ且、戰勝後新秩序ヲ實現シ其ノ夫々ノ經濟圈ニ大規模ナル建設計畫ヲナシテ關係國民ノ共存共榮ヲ確固タルモノタラシムル爲、左ノ協定ヲ締結シ兩國間經濟提携ノ一層ノ緊密化ヲ圖ルコト、決定セリ。

第一條

日獨兩國ハ其ノ各々ノ經濟圈ニ於ケル財貨並全スル援助ニ付其ノ全力ヲ擧ゲテ之カ交流ヲ促進シ且ツ其ノ遂行ニ當ルヘキモノトス

兩國ハ物資獲得並設備ノ鋸附ニ就キ相互援助ヲナシ且ツ技術上緊密ナル提携ヲナスヘキモノトス

第二條

日獨兩國ハ前條ノ條項實施ニ伴ヒ生スヘキ支拂ヲ圓滑ナラシムル爲、金融上緊密ナル提携ヲナスモノトス。

Doc 1-110

第三條

日獨兩國ハ經濟政策遂行上ノ提携ヲ一層效果アラシムル爲緊密ナル關係ヲ保持スヘキモノトス
兩國政府ハ兩國間ノ經濟關係ノ推移ヲ絶ヘス注視スルノ目的ヲ以テ委員會ヲ特設スヘキモノトス。

第四條

兩國政府ノ主務官廳ハ本協定實施ニ必要ナル細目ニ關スル取極ヲナスヘキモノトス。

第五條

本協定ハ其ノ署名ノ日ヨリ效力發生スヘク且昭和十五年即チ一九四〇年九月二十七日調印ノ日獨伊三國同盟條約ト同一ノ存續期間ヲ有スヘシ。

日本國伊太利國間經濟提携ニ關スル協定

(本協定ノ原文ハ日獨協定ノ夫レト同一ナリ。前文ニ於テ「獨逸國政府」ニ代フルニ「伊太利國政府」トアリ本文中「獨逸」ナル名稱ニ代フルニ「伊太利」ナル名稱ガ用ヒラレアリ。第五條ニ於ル日附、一九四〇年九月二十七日ノ後ニ「フアンスト政權」ニテ十八年「ト追加セラレタリ。

本協定ガ獨逸總統本部ニ於テ日獨兩國ノ署名ヲ見タル直後貿易及技術上ノ提携並支拂ニ關スル具體的細目

Doc 1210

ニ付キテノ到極ガ東京ニ於テ外務大臣谷正之氏、獨逸
大使「フツト」中將並獨逸經濟使節團長「フツト」
氏トノ間ニ締結セラレタリ。

上起、日伊獨協定實施ニ關スル細目ニ付キテハ
目下兩國間ニ於テ討議中ナリ。